

# 朝鮮民主主義人民共和国における 国家経済発展5カ年戦略の目標と中心的課題

朝鮮社会科学院経済研究所研究員

朴斗星

## はじめに

科学的戦略に基づいて経済を発展させることは、社会主義経済強国を成果的に建設していくうえで、非常に重要な問題となる。

国家経済発展戦略は、その段階における党の経済路線を貫徹させるための、国家経済発展の目標と基本方向、その実現のための課題と方法を規定したものであると言える。

国の富強繁栄と人民大衆の福祉増進を目標とする経済の発展は、国家が党の路線と政策に基づいた科学的な経済発展戦略を立て、国の資源とすべての潜在力を最大限に動員利用し、生産の連続的な増加と経済の全般的均衡を保障する過程を経てこそ、成果的に達成される。特に、米国をはじめとする敵対勢力の孤立圧殺策動がどの時よりも悪辣になっている困難な条件と環境の中で、社会主義経済強国を建設するための戦いを繰り広げている現在の朝鮮では、経済的難局を突破し、短期間内に社会主義経済強国を建設するためには、科学的で現実的な経済発展戦略を立て、正確に執行していかなければならない。

敬愛する最高指導者金正恩同志は歴史的な朝鮮労働党第7回大会で行った中央委員会事業総括報告の中で、社会主義経済強国建設の戦略的路線とその実現のための課題を明確に示すとともに、国家経済発展5カ年戦略（以下、「5カ年戦略」とする）を提示した。

金正恩同志は次のように述べた。「当面、2016年から2020年までの5カ年戦略を徹底的に遂行しなければなりません」。

## 1. 経済強国建設の目標と中心的課題

朝鮮労働党第7回大会で提示された5カ年戦略では、まず経済強国建設の戦略目標を提起している。5カ年戦略の目標は、人民経済全般を活性化させ、経済部門間の均衡を保障し、国家経済の持続的な発展を実現できる土台を築くことである。

経済強国建設は現時期、朝鮮の党と国家が総力を集中させるべき基本戦線である。現在朝鮮は、政治軍事強国の地位に堂々と立ち上がったが、経済部門はまだ相応の高みに達していない。経済全般を見ると、先端水準にまで達した部門がある一方、ある部門は情けなく立ち遅れていて、人民経済部門間の均衡がしっかりと保障されておらず、先行部門<sup>1</sup>が前進できておらず、国の経済発展に支障をきたしている。

したがって、人民経済全般を活性化させ、経済部門間の均衡を保障し、国の経済を持続的に発展させることができる土台を築くことを、5カ年戦略の目標として提示した。5カ年戦略には、戦略目標達成のための中心的課題も明確に示されている。

5カ年戦略の中心的課題は、党の新たな並進路線を掲げ、エネルギー問題を解決しながら、人民経済先行部門、基礎工業部門を正常軌道に乗せ、農業と軽工業生産を増やし、人民生活を決定的に向上させることである。5カ年戦略は中心的課題に力量を集中させ、突破口を開き、人民経済全般を振興させ、朝鮮経済の持続的な発展を推進できるようにする科学的で合理的な戦略である。

5カ年戦略では戦略期間の国家経済発展の中心的課題を電力、石炭、金属工

業と鉄道運輸など人民経済先行部門、基礎工業部門の発展、農業と軽工業の発展に置き、これらに国家的な力を入れることにより、経済の持続的な発展のためのしっかりとした土台を築いて、人民生活を決定的に向上させることを予定した。

## 2. 電力問題の解決

5カ年戦略遂行期間には何よりも電力問題解決に国家的な力を集中させる。それは、電力問題を解決することが5カ年戦略遂行の先決条件であり、人民生活向上の中心的課題であるからである。人民経済すべての部門において、生産を活性化し、現代化、情報化を促し、人民の最高の文明を最高のレベルで享受させるには決定的に電力問題を円満に解決しなければならない。

電力問題を解決するために、まず5カ年戦略遂行期間の現存発電能力を最大限に利用し、電力生産を遥かに増やす。電力工業部門において、発電所の改善すべき生産工程と施設などを整備補強し、技術改善を促し、発電設備の効率を向上させ、フル稼働、満負荷を保障し、電力生産原価を体系的に下げることに力を集中させる。これと同時に、電力工業部門の発電設備と施設などの整備補修に必要な資材、資金を優先的に保障するための国家的な対策を立てる。

電力問題を解決するために、次に、生産された電力を効果的に利用するために対策を立てる。生産された電力を効果的に利用することは厳しい電力問題を解決するための重要な方法の一つである。生産された電気を効果的に利用するために、まず国家的な統合電力管理体系を構成し、

<sup>1</sup> 北朝鮮では、電力、石炭、金属、鉄道運輸など、生産における基本的な要素となる産業を「先行部門」と称して優先的に発展させる政策を展開している。

実質的に運営し、交差生産<sup>2</sup>を合理的に組織する。また、配送電網の技術改善や補修を行い、電圧段階と力率を高め、電力の途中損失を減らす。電力生産と需要が増えることに合わせて、送電系統と変圧器などを補強し、力率を高めるための対策を立て、電力の途中損失を決定的に減らし、国の送電系統は徐々にフレキシブル交流送電系統 (FACTS) に転換させる。

電力問題を解決するために、朝鮮の豊富な動力資源に頼る電力生産基地を大々的に振興させる。戦略遂行期間に漁郎川発電所をはじめとする建設中の水力発電所の操業日時を前倒し、大規模の端川発電所を最短期間で建設し、原子力発電所建設を同時に推進し、電力問題解決の展望を切り開く。大規模発電所建設と共に、道、市、郡が自らの力で中小型発電所を実用的に建設し、正常に運営するための対策を立てる。そして、風力と潮力、バイオマス、太陽エネルギー発電所の建設適地を漏れなく調査把握し、発電所を建設すると同時にすべての部門と単位が実情に即して自然エネルギーによる電力生産技術を積極的に取り入れ、その利用範囲を拡大させる。

### 3. 石炭工業と金属工業、鉄道輸送部門の発展

5カ年戦略遂行期間中、石炭工業と金属工業、鉄道運輸部門を画期的に発展させる。

まず、石炭生産を高い水準まで引き上げる。石炭は朝鮮において工業の食糧であると言える。石炭工業部門は埋蔵量が多く、採掘条件が有利な西部地区と北部地区の炭鉱に投資を集中し、増産闘争を力強く繰り広げ、人民経済の増加する石炭需要を円満に保障する。炭鉱において、組枠による広幅式採炭法のような能率的な採炭方法を取り入れ、坑内作業の総合的機械化と運搬の多様化を積極的に実現させ、石炭生産を最大限に増やす一方、選炭工程を完備させ、良質の石炭の生産を

保障する。炭鉱において、選炭工程を設置し、良質の石炭を生産することは貨物輸送量を減らし、石炭を利用する単位における技術経済的指標の改善に役立つ。5カ年戦略期間中、先進的な選炭設備を設置・運営する手本を示し、すべての炭鉱に一般化し、灰分が低く発熱量が高い良質の石炭を消費単位に送る。これと同時に、探査と掘進を推進し、確保炭量をより多く確保して、展望の良い新たな炭鉱と坑を大々的に開発し、石炭生産能力を持続的に高めていく。

次に、金属工業部門において、製鉄、製鋼、圧延工程の技術装備の水準を高め、原料、燃料、動力の保障対策を立て、鉄鋼材生産を増やす。黄海製鉄連合企業所、金策製鉄連合企業所、千里馬製鋼連合企業所をはじめとする金属工場において主体鉄生産の土台を増強させると同時に、全般的生産工程の技術装備の水準を高め、生産工程を補充完備させるための事業を力強く推進し、鉄鋼材生産を遥かに増やす一方、現代冶金工業の発展趨勢に即し、先進技術に依拠して、鉄鋼材生産の技術経済的指標を改善し、合金鋼と規格鋼材の品種を増やす。茂山鉱山連合企業所をはじめとする鉄鉱山の生産能力を拡張させ、剥土処理を推進し、採掘設備を現代化させ、生産を増やし、選鉱実収率を上げ、良質の鉄精鉱を金属工場に供給させる。電極、合金鉄、耐火物生産基地をしっかりと設けて、金属工業の物質技術的土台をより強化させ、生産と科学技術を密着させ、多元素合金鉄と良質の耐火物、電極の生産を保障する。

鉄道運輸発展に力を入れ、年間鉄道貨物輸送量を引き上げる。鉄道運輸部門は、鉄道運営単位の任務負担と事業体系を明確にし、唯一司令体系に従う運行規律を厳格に立て、列車運行組織と方法を科学化、合理化し、輸送の迅速性と正確性、円滑性と安全性を保障する。鉄道輸送区間は集中貨物ターミナルと専用線技術装備水準を高め、集中貨物輸送比重を決定的に上げ、陸海運部門との連帯輸送

を強化し、貨物輸送を伸ばす。金鐘泰電気機関車連合企業所を現代化の実現された手本となる単位にし、その模範を全国の鉄道工場、企業所に一般化させ、先端技術が導入された現代的な交流電気機関車<sup>3</sup>と多用途の専用貨車、重量貨車を自主的に開発・生産させる。鉄道建設を促し、国の鉄道網をより完備させ、重要路線における鉄道の重量化、高速度化を段階別に促進し、鉄道の物質技術的土台を強化し、より多くの荷物を運ぶ。

### 4. 機械、化学、採取工業と建設、建材部門の発展

5カ年戦略遂行期間は機械、化学、採取工業<sup>4</sup>と建設建材部門において転換を起こす。

機械工業発展を積極的に推進し、人民経済の現代化、科学化実現に貢献させる。機械工業は経済発展と技術的進歩の基礎である。機械工業部門において先端設備を新たに装備すると同時に、すでにある機械設備の性能を改善し、フレキシブル生産セルを構成する方法で生産工程を現代化し、効率的で高能率の機械製品を生産するための土台を築く。特に、金正恩同志が高く評価した80馬力のトラクターと115馬力の貨物自動車の系列生産工程を確立する。そして、人民経済の現代化実現に切実に必要な測定設備生産基地を新たに設けて、多機能、多目的、知能化された測定設備を自主的に生産し、工具生産基地をしっかりと築き、工具の国産化を実現する。

化学工業部門において、化学製品生産の主体化を高い水準で実現し、化学工業を新たな土台に引き上げることを重要な課題として掲げていく。まず、化学工業部門の生産設備と系統を適時に整備補修し、生産能力を拡張し、触媒の国産化を実現し、主体肥料とピナロン<sup>5</sup>、基礎化学製品生産を正常化する。特に、肥料工場において、生産工程の整備補修をしっかりと行い、当面の肥料生産を正常化すると

<sup>2</sup> 電力が不足するときに、複数の電力使用対象間での電力使用を調整するための措置。日本の東日本大震災後の「計画停電」とはほぼ同じ概念である。

<sup>3</sup> 北朝鮮の鉄道電化は基本的に直流3000ボルトであるが、ここで言う交流機関車とは主電動機に交流三相誘導電動機を採用した電気機関車のことを指す。

<sup>4</sup> 石炭工業、鉱業、原油採掘業、林業、水産業等の自然から資源を採取する業種を一括して定義した言葉であるが、本稿ではもっぱら鉱業について触れられている。

<sup>5</sup> ピニロンのことを北朝鮮ではピナロンと呼ぶ。

同時に、現代化を促し、生産能力をより高め、窒素肥料生産を伸ばし、リン肥料、カリウム肥料、ケイ素肥料をはじめとする様々な肥料を豊富な品揃えて保障する。また、化学工場の生産工程を公害がなく電力消費が少ない工程に技術再建し、国内資源に依拠する新たな化学製品生産基地を展望性があるように建設する。

5カ年戦略遂行期間中、石炭ガス化によるC1化学工業を創設し、褐炭を利用する石炭乾留工程を設け、硫酸ナトリウムを出発原料とする炭酸ソーダー工業を完備させ、メタノールと合成原油、合成樹脂をはじめとする化学製品生産の主体化を高レベルで実現する。これと同時に、地下超塩水による製塩工程を完成し、塩生産を画期的に伸ばす。

5カ年戦略遂行期間中、採取工業部門に力を入れ、国の資源を効果的に動員利用する。端川地区をはじめとする国の随所に豊富に埋蔵されているマグネサイトと黒鉛、硅石、希土類鉱物等の有用鉱物をより多く開発する。採取工業部門の鉱山からより多くの鉱量を確保し、採掘場と採掘、運搬設備を現代化、大型化し、選鉱場と製錬所の現代化を実現させ、マグネシアクリンカーと電気銅、電気亜鉛をはじめとする様々な非鉄金属と非金属製品の生産を最大限に伸ばす。

5カ年戦略遂行期間中、重要な建設事業に引き続き力を集中し、建設の大繁栄期が途絶えずに継続していくようにする。建設部門において、党の主体的建築美学思想を指針に先便性、先美学性の原則が具現された万年大計の記念碑的創造物を最高の水準及び最大の速度で建設する。中央と地方の設計力量と建設力量を強化し、設計手段と建設装備、機工具を現代化し、朝鮮の実情と世界的趨勢に即し、乾式工法を奨励し、ゼロエネルギーとゼロ炭素建築技術、インテリジェント建築技術を広く取り入れ、施工の専門化、工業化、現代化を高い水準で実現する。建材工業部門において、工場、企業所を現代的に建設し、セメント生産を決定的に伸ばし、建材生産を専門化、伝統化し、最新技術を活用し、建材の多様化、多様化、国産化を実現する。

## 5. 農業と水産業、軽工業の発展

5カ年戦略遂行期間中、農業と水産業、軽工業発展に力を入れ、人民生活の向上の突破口を切り開く。

農業部門において、主体農業の要求通りに科学農業の熱風を巻き起こし、穀物生産を遥かに伸ばし、食糧問題、食べる問題を解決する。まず、非穀物作物の栽培面積を縮小し、稲とトウモロコシをはじめとする穀物栽培面積を最大限に拡大し、ジャガイモとサツマイモなど多収穫作物を多く植え、面積当たりの収穫を高める方法で穀物生産を伸ばす。また、二毛作と二重栽培方法を積極的に取り入れ、土地利用を1.5倍以上高めることによって、穀物生産を引き上げる。穀物対穀物、穀物対ジャガイモを基本とし、穀物対野菜、穀物対工芸作物栽培を科学的に行い、トウモロコシ二列集約栽培による二重栽培面積を決定的に伸ばし、土地利用と農作業の集約化水準を高め、多くの穀物を生産する。そして、農業科学研究機関は、一町歩当たりの収穫が10トン以上ある稲の品種と一町歩当たりの収穫が15トン以上あるトウモロコシの品種をより多く育種・導入し、種子生産単位は種子生産と加工の現代化を実現し、地方別、品種別需要に即し、種子生産を推進する。これと同時に、地帯的特性と自然気候条件に即し、作物と品種配置を適切にし、農作物肥培管理において科学技術的要求に徹底的に従い、穀物生産において効果を出している先進的な営農方法と技術を積極的に取り入れる一方、有機農業を奨励し、環状循環生産体系を確立する事業を一貫性があるように推進する。

畜産部門において、家畜種子と飼料問題を解決し、飼養管理を科学的に行い、獣医防疫対策を徹底的に立て、畜産物生産を伸ばす地区畜産基地をはじめとする現代化された畜産地区を正常に運営すると同時に、協同農場の共同畜産と農村世帯の個人畜産を發展させ、食肉生産を増やす。

果樹業の集約化、科学化水準を高め、果物生産を伸ばし、野菜畑の灌漑面積を体系的に拡大し、全国随所に建設されている野菜温室とキノコ工場の運営を正常

化し、野菜とキノコ生産を増やす。

農村經理の総合的機械化を力強く推進し、播種機、稲総合収穫機をはじめとする労力節約型の高効率の農業機械を系列生産するための現実的対策を立て、朝鮮の自然地理的条件と朝鮮人の体質に合う多機能化された自動式、半自動式、手動式農業機械をより多く創案製造し、農作業の機械化比重を60~70%に引き上げる。

水産部門において、黄金の海の歴史を輝かせるための飛躍を起こし、水産物生産を伸ばす。まず、科学水産というのは漁業の実績であることを銘記し、漁船と漁具の近代化水準を高め、先端科学技術に基づいて、気象予報、海上指揮、魚の加工体系と設備及び電力監視体系、船の修理体系を完璧に構築し、先進的な漁労技術を取り入れ、積極的な漁労戦を繰り広げ、水産物生産を画期的に伸ばす。また、養魚において、労力節約型、水節約型方法を取り入れ、東、西海の有利な水域と河川、湖、貯水池で網生質養魚を大々的に繰り広げ、すべての道が実情に即して現代的なナマズ工場を建設し、ナマズ生産の現代化、集約化、科学化を実現し、より多くの魚を生産する。そして、沿岸養殖面積を拡大し、沿岸養殖をより發展させ、海藻と貝をはじめとする水産物生産を伸ばし、水産物加工において転換を起こし、様々な良質の水産物加工品をより多く生産する。

軽工業発展に力を入れる。

軽工業工場を知識経済時代の手本となる工場にし、原料、資材の国産化を実現し、生産を活性化し、消費品に対する人民の需要を保障する。新製品開発と質向上に力を入れ、軽工業製品の多様化、多色化、多様化、軽量化を実現し、世界的水準の軽工業製品をより多く生産し、地方において昌城連席會議精神を具現し、自らの力で問題を解決していくための作戦を周到細密に立て、地方経済を特色的に發展させる。これと同時に、人民経済のすべての部門、すべての単位において、予備と可能性をあますところなく探究動員し、技術革新運動と社会主義競争運動を活発に展開し、生産的昂揚を起こす。

## 6. 国土管理事業(治山、治水、環境保護)の発展

5カ年戦略遂行期間中、国土管理事業を力強く展開する。

山林復旧戦闘を年次別計画通りに根気よく推進し、国のすべての山を青い森の茂った黄金の山、宝の山に変えていく。すべての道において人民軍の養苗場を手本、標準とし、養苗場建設を促し、苗木生産の工業化、集約化を実現し、軍と人民が皆立ち上がって、植樹と肥培管理を科学技術的要求に即して、責任的に実施する。

環境保護事業を改善し、国の資源を保護増殖し、平壤市と道所在地、主要産業地区と河川に環境監視網を設け、大気汚染浄化施設を導入し、すべての港、埠頭と船に汚水、汚物処理施設を備え、大気と河川、海の汚染を防ぐ。

## 7. 対外経済関係の発展

5カ年戦略遂行期間において、対外経済関係を拡大発展させ、経済強国建設に実質的に貢献させる。

対外貿易において、信用第一主義原則を守り、貿易を多様化、多角化し、貿易構造を二次、三次加工品輸出と技術貿易、サービス貿易の比重を高める方向へと改善させる。

合営、合作を主体的立場から実利的に組織し、先進技術を取り入れ、国の経済を発展させることに貢献し、経済開発区に有利な投資環境と条件を保障し、その運営を活性化させ、世界の観光発展の趨勢に即して、観光対象と地域を増やし、様々な形態の観光を活発的に組織する。

## 8. 朝鮮式经济管理方法の全面的確立

経済強国建設において転換的局面を切り開いていくために、国家の経済組織者の機能を強化し、チュチェ思想を具現した朝鮮式经济管理方法を全面的に確立する。

まず、経済事業に対する国家の統一的指導と戦略的管理を責任的に行っていく。国の経済司令部である内閣は、要領主義、形式主義、敗北主義と断固決別し、党と人民の経済事業を担う主人らしく、党の路線と政策に基づいて国家経済発展戦略と段階別計画を現実性があるように立て、その執行のための経済組織事業を隙間なく組み、最後まで粘り強く推進する。内閣は中心的課題に力量を集中し、経済全般を活性化させていく方法で経済事業を作戰・指揮する。内閣責任制、内閣中心制の要求通りに国の全般的経済事業を内閣に集中させ、すべての部門と単位が内閣の統一的な作戰と指揮に従って動

く規律と秩序を厳しくたてる。

また、社会主義企業責任管理体制を正しく実施する。工場、企業所、協同団体は社会主義企業責任管理体制の要求通りに経営戦略をしっかりと立て、企業活動を主動的に、創発的に行い、生産を正常化し、拡大・発展させていく。国家的に企業体に付与した経営権を円滑に活用できるように経済的条件と法律的環境を充分に保障する。

## おわりに

5カ年戦略は、短い期間で朝鮮を社会主義経済強国に建設する道を明らかにした最も科学的で革命的な戦略で、千万軍民を新たな闘争と偉勳へと鼓舞・推進する戦闘的旗じるしである。5カ年戦略には、政治と軍事のみならず、経済も一日も早く世界的水準に発展させ、主体の社会主義朝鮮を全世界が仰ぎ見る天下第一強国に建設しようとする金正恩同志の確固たる決心と意志が込められている。

朝鮮人民は金正恩同志が提示した5カ年戦略を徹底的に遂行することで、苦難と試練の丘を越え、上昇軌道に乗った国の経済発展を力強く推進し、近い未来経済分野においても世界を圧倒し、朝鮮を社会主義強国へと輝かせていくであろう。

[朝鮮語原稿を ERINA にて翻訳]